

まめまめ通信



さいわい
こども
クリニック

2025. Aug.
Vol. 32 No. 8

夏季休診のお知らせ

8/12(火)から8/16(土)はクリニック休診になります。診療相談については下記をご参照ください。(平野)

●立川市休日急患診療所(はぐくるりん 1 階)

TEL:042-526-2004/住所:立川市錦町 3 丁目 3 番 6 号
日・祝・年末年始(12/29~1/3)9:00~20:45

●東京消防庁救急相談センター

#7119 または TEL042-521-2323(24 時間年中無休)

●小児救急電話相談

TEL: #8000 または TEL:03-5285-8898

平日(月~金)18:00~翌朝 8:00

休日(土曜日含む)8:00~翌朝 8:00



急な雨が降ってしまったら...



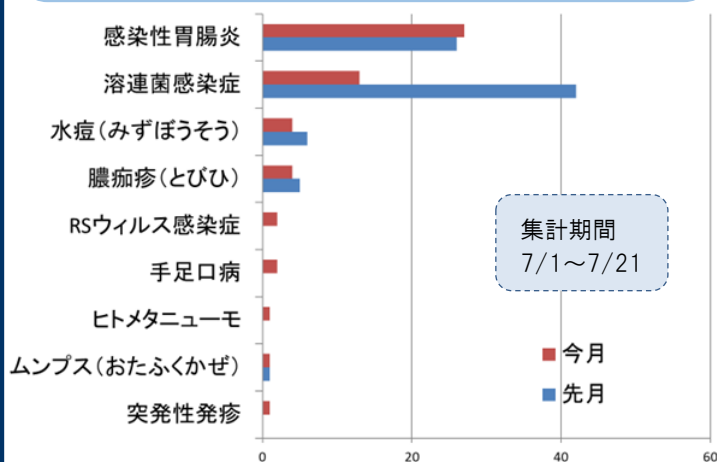
医事の
コーナー

夏真っ盛り!この時期は大気の状態が不安定となり、急な雨や雷が多くなる季節ですね。

当院では貸出用の傘がありますので、急な雨が降ってしまった場合は傘をお貸しすることができますのでお気軽にスタッフまでお声がけください。次回来院された際や近くに寄った時で結構

ですので返却いただければ幸いです。また、雨の日にお子様を連れての受診は大変ですよね。玄関に雨用タオルを準備しておりますので、自由にご利用ください。なお、傘の忘れ物も多くなっておりますので、お気を付けください。(K)

感染症だより



水痘は一段落していますが潜伏期間が2週間程度ありますので、引き続き注意が必要です。かさぶたになるまで感染性があります。ワクチン接種前のお子さんには接しないようにしましょう。(ヒ)

水辺遊びにはぜひライフジャケットを



外来保育士
の
コーナー

「今日も暑いね!」が合言葉になっている毎日ですね。涼を求めて水辺へのお出掛けを計画中のご家庭も多いと思います。そこで、お出掛け前にお勧めしたい絵本があります。それは『かつぱのふうちゃんライフジャケットでスイスイ』です。まだ泳ぎが上手ではないふうちゃんが伝えてくれるこの絵本のコンセプトはただ1つ...それはこども達の命を守ること。大人も子どももぜひ手に取って読んでいただきたい1冊です。(Y)

夏の紫外線対策



古川 Dr の
ひとりごと

夏本番となりました。紫外線は皮膚でビタミンDを作り、骨を丈夫にする働きがありますが、浴びすぎると皮膚や目に悪影響を及ぼします。外遊びは紫外線が強い10時~14時を避け、日陰を選ぶ、帽子や衣類で覆う、日焼け止めを活用するなど、上手に紫外線とつきあいましょう。日焼け止めは日常とレジャーで使い分けましょう。「SPF15~20、PA++」(日常用)や「SPF20~40、PA+++」(レジャー用)を目安に、無香料・無着色のものを選ぶと安心です。また、2~3時間ごとに塗り重ねるようにしましょう。

夏休み



サービスの
コーナー

【8月の折り紙】

クワガタと飛ぶセミ

【おすすめ絵本】

「島のみみずくトウトウ」

作: 何 華仁

絵: 中 由美子

出版社: 童心社



最新の診療予定

こちらの QR コードからご確認ください

*8月1日より受付は 8:50 からになります。



時間外電話相談のご案内

①母と子の健康相談室 *365 日対応 #8000

②クリニック代表電話 *木・日曜祝日を除く時間外 22 時迄
042-536-7280

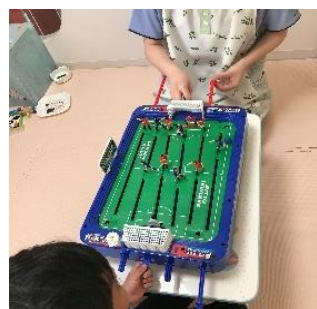
専門のスタッフが時間外も相談をお受けします。音声ガイダンスが流れますので症状についてのご相談をお選びください。



ぽけっと病児保育室で過ごしている間は横になって休んでいるだけではなく、
体調に合わせて体を休めながらできる遊びをして過ごします。
ゆったりとくつろぎながら回復に向かっていけるような雰囲気づくりをしています。



公園と道路が見えるので、一緒に眺めながら会話が
はずみます。
四季を感じる事ができる素敵な窓です。



季節に合わせた製作。作った作品を「見て～！」と
お迎えの時に真っ先に見せに行っています。

布団の上で本を読んだり折り紙を
したり、疲れた時にはすぐに横に
なれるので安心して休めます。



アイロンビーズや
ボードゲームなども
あります。

初めて入室するお子さんに…



いつもと違う場所や知らない場所に行くことは、子どもにと
って不安なことですね。この病児保育室だよりを通して
ぽけっと病児保育室がどんなところなのか、年齢ごとにどん
な遊びをしてすごしているのか一緒にご覧いただくことで、
ほんの少しでも不安が小さくなれば嬉しいです。



夏のやけど

夏は炎天下で熱せられた遊具や地面などを触っ
てしまい、野外でもやけどにつながるケースがありま
す。特に、花火は小さな火種が大やけどをまねく危
険性があります。

すぐに受診



- 水ぶくれができたやけど
- 陰部のやけど
- 手や足の指のやけど
(皮膚がくっついてしまうため)



応急手当の方法

- やけどした部位を流水で
5-10 分冷やす
- 服の上から熱湯などがかった場合、服の
上から流水で冷やす
- 水ぶくれはやぶかない



顔のやけど、やけどの範囲が
広い場合、黒いやけどは救急
車を呼びましょう

